

## 藤沢総合高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

審議会等名称	令和7年度 藤沢総合高等学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和7年6月25日(水) 15時30分～17時00分
開催場所	藤沢総合高等学校 応接室
出席者	学校運営協議会委員 5名 事務局(副校長・教頭・総括教諭・担当者) 10名
下欄に掲載するもの	・議事概要
審議(会議)経過	<p>1 校長挨拶</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 委員、出席職員自己紹介</p> <p>4 学校運営協議会組織について(教頭)</p> <p>・藤沢総合高等学校運営協議会イメージ図</p> <p>5 今年度学校運営の基本方針について(校長)</p> <p>・今年度の目標を説明</p> <p>・子どもサポートドック、シチズンシップ教育を推進している。</p> <p>・不祥事ゼロプログラムの具体的計画の共有。</p> <p>6 今年度学校諸活動について(各グループ総括教諭)</p> <p>カリキュラムGより</p> <p>昨年度は55分授業で年間1単位あたり36時間実施していたが、今年度から50分授業に変更し年間1単位あたり35時間となります。半期制の問題点として、講師の確保や成績処理の早期化による転学者増があげられる。</p> <p>必履修科目に関しては通年化を進めてきた。必履修科目の増単が半期制となっているため、再整理を検討中。</p> <p>総合推進Gより</p> <p>課題研究では、大阪方面の企業を訪問し、社会が抱える課題について考える。</p> <p>シチズンシップ教育では、DXの導入を全教科で研究する。</p> <p>長後地域のボランティアが増加した。</p> <p>学校説明会の年間予定を報告した。</p> <p>総合学科夏季連携講座では、現状、本校から希望者約70名に対し、受け入れは約50名なので定員を超える場合は抽選となる。</p> <p>ガイダンスGより</p> <p>卒業生進路概況</p> <p>9割が進学。指定校推薦に漏れた生徒は一般入試を受験している。</p> <p>昨年度は就職者が多かった。</p> <p>7月上旬にはダンボール一箱では収まらないほどの求人票が届く。</p> <p>キャリア支援の課題として、生徒自身が自分の学力を客観的に把握</p>

すること、または世間一般の平均的な学力を把握することが挙げられる。

#### 生徒活動Gより

生徒が「やりたいこと」を実現したいという希望に応じ、適切なルールを整理しながら生徒の希望に寄り添っていくことを目標としている。

文化祭 開催日 10月25日(土)、26日(日)

・テーマ 「青春サラダボール」

・今年度から地域の方の来場を許可します。

体育祭 赤団がボード、ダンス、競技、総合で優勝しました。  
部活動入部状況の報告。

#### 生徒支援Gより

女子生徒が多いため、生徒指導よりも生徒支援に重点を置いた目標を立てている。

サポートドックを7月7日(月)に実施予定。

SSW(スクールソーシャルワーカー)、SC(スクールカウンセラー)

が毎週に来校するようになり、面談予約が逼迫している状況。

学年や担任と連携し、必要に応じて外部機関との連携も行う。

#### 総務Gより

総務グループ主催活動予定を報告した。

避難訓練の実施報告 日傘をさす生徒がいる可能性を懸念していたが、実際は一人もいなかった。10分弱で避難完了した。

同窓会について 7月に同窓会を開催予定。卒業生からJリーガーが出た。

職場改善推進事業 職員室内の備品費用が藤沢総合高校に回ってきたので、現在グループを作り、創案している。

#### 7 意見交換

質問:薬物乱用防止について、PTAが文化祭で配布しているウェットティッシュに薬物乱用防止のチラシを入れている。連絡先などの掲載をしたいが、問い合わせ先がわからない。

回答:生徒支援Gと今後相談する。

質問:教育課程について、「セメスター制」とは何か。

回答:セメスター制とは、前期と後期で成績が決定し、すべての科目を半期で認定する制度である。デメリットとして、半期制であると3年間で卒業できない生徒や転学者が多くなる可能性があること、前期で必修科目が取れなかった場合、次年度に同じ科目の履修が必要になる。メリットとして、9月卒業が可能になる。

質問:在県生徒の対応については、多文化交流コーディネーターなどと連携しているのか。

回答:在県生徒の対応については、多文化交流コーディネーターなど  
意見:外部の意見を取り入れながら対応していくことになっている。

意見:課題研究について、研修旅行での課題研究が形式的にならず、体系的に行えるようにする。相手の関心を汲み取ること、お客様のリアクションを感じることなど、AIなどの機械では読み取れない要素を

	<p>組み込むとよい。</p> <p>夏季連携講座について、自身で補填できる講座があれば協力したい。</p> <p>意見：SSW、SCについて、SCを行うための教員の合宿を行い、認定資格を取得してはどうか。</p> <p>防災訓練について、消防署に依頼してよりリアルな体験をさせることや、AEDの使い方を学ばせるとよい。個人的な活動として、湘南災害進行財団が高校生を対象とした活動を多く行っているため、学校で何か手伝えることがあれば協力したい。</p> <p>確認：3月の運営協議会で学校関係者評価を行う。委員にフォームで回答してもらう必要があることを確認。</p> <p>以上</p>
次回開催予定日	令和7年11月予定
問合せ先	副校長 相川 電話 0466-45-5325（直通）